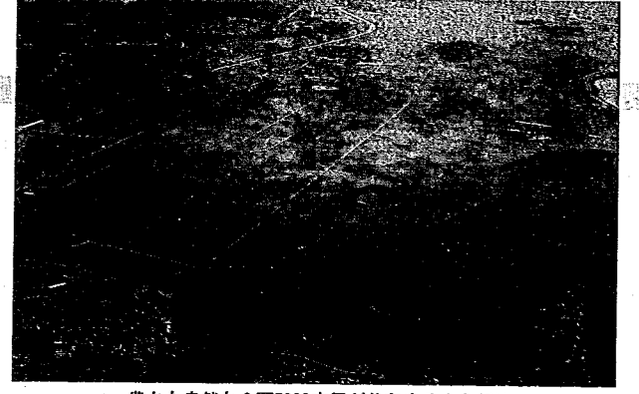
市民一丸のまちづくりを展開

小林市長は、六月市議会初日の三日、平成三年度の施政方針を説明しました。この中で市長は、もう一度地方自治の原点に立ち返り、「市民とともにまちづくり」を大原則に、行政も、議会もそして市民一丸となったまちづくりを推進したいと施政の基本的姿勢を述べる一方、行政目標として、①自然と歴史をいかしたまちづくり②個性を伸ばし、豊かな心を育むまちづくり③福祉と医療の充実したまちづくり④個性と活力ある賑わいのまちづくり⑤新しい農業に挑戦するまちづくり――の五点をあげました。

以下、施政方針の全文を掲載します。なお、予算のくわしい内容などは、次号以降の広報でお知らせします。


豊かな自然と６万5000市民が共存するまち新津

平成三年新津市議会六月定例会の開催にあたり、新年度における私の施政の方針と所信の一端を申し述べ、議員各位をはじめ市民各位のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

私は、去る三月十七日行われた市長選挙におきまして、市民各位から温かいご懇情を賜り、初当選の栄に浴させていただき、翌十八日市長に就任いたしました。ここに重ねて深く感謝申し上げますとともに、市長という重責を担うとき、改めて身の引きしまる思いがいたします。

また、議員各位におかれましては、四月二十一日行われました市議会議員一般選挙におきまして激戦を勝ち抜かれ、見事当選されましたことを衷心よりお祝い申し上げます。

さて、私が市政を担当する初年度にあたり、この機会に私のまちづくりに対する基本理念を申し述べたいと思います。

ご承知のように、二十一世紀に向けたラスト十か年は、多極分散型の国土形成を推進するために、地方中核都市の整備を地方の自主的な政策判断に基づき、地域づくり、まちづくりを実践する十か年と言われております。このため国では、「地方が知恵を出し、国が支援する」というこれまでとは異なった発想に基づく「自ら考え、自ら行う地域づくり」事業をスタートさせております。また、県も「ふるさとづくり戦略推進」事業を新設するなど、単に行政機関内部の取り組みだけでなく、広く住民の参加を求め、地域の知恵と情報を出し合い、地域の将来を模索する気運の醸成に努めているところであります。時あたかも当市は、市制施行四十周年の節目の年にあたります。私は、この機会にもう一度地方自治の原点に立ち返り、「市民とともにまちづくり」を大原則に、行政も、議会も、そして市民一丸となったまちづくりを推進し、「住んでよかったまち」「住みたいまち」新津をつくっていきたいと考えております。そのため私は、個性豊かで活力ある新津市を目指して、次の五つのことを考えております。

まず第一は、自然と歴史をいかしたまちづくりであります。第二は、個性をのばし、豊かな心をはぐくむまちづくりであります。第三は、福祉と医療の充実したまちづくりであります。第四は、個性と活力ある賑わいのまちづくりであります。そして第五は、新しい農業に挑戦するまちづくりであります。もちろん、これらの事は財政的・制度上の制約から一朝にして実現できる事ではありませんが、少なくとも行政目標をこの五点に置き、議会はじめ市民の皆様方の後押しがあれば、必ずや実現できるものと確信いたしております。

さて、現在、新津市は幾つかの課題を抱えております。それは、ごみ焼却場の建設であり、工業団地の造成であり、物流ネットワークシティの建設であります。また、これ以外にも鉄道文化村の建設、上級学校の誘致、地域福祉計画の策定、市街地の活性化対策、市制四十周年記念事業の実施などがあろうかと存じます。これらにつきましては、前段申し述べました「市民とともにまちづくり」をモットーに、勇気を持って対処していく決意でありますので、議員各位の格別なご支援とご協力をお願い申し上げる次第であります。

また、行政を執行するにあたり忘れてならないものに、「人づくり」と「行政の文化化」があろうかと思います。特に、「人づくり」は、言うに易く行うに難しの感がありますが、「人づくりなくしてまちづくりなし」の信念で、積極的に取り組む所存であります。

なお、平成三年度の当初予算案は、只今申し述べました基本的な理念や行政の継続性に意を用いながら、別添配布のとおり編成いたしました。以下主要施策を次のとおり推進したいと考えておりますので、順次項目ごとにご説明申し上げます。

1　都市基盤・生活環境の整備

「住んでよかったまち」「住みたいまち」新津をつくるには、快適な市民生活空間の創造が必要欠くべからざる条件でありますが、今、本市におきましては、磐越自動車道の供用開始をひかえ、高速交通体系に適切に対応できる道路網の整備と土地利用計画の見直しが緊急の課題として浮かびあがってきております。申すまでもなく、土地利用計画は本市の将来を方向づける大きな問題であり、国・県及び近隣市町村とも連携し、慎重に検討しなければならない問題であります。この際、物流ネットワークシティ構想など今後計画されておりますプロジェクト事業についても十分検討を加えながら、土地利用計画案を作成したいと考えております。

次に、道路網の整備についてでありますが、本年度は下興野・程島線街路工事を積極的に進めていきたいと考えております。また、市道大鹿第四十九号三津屋線改良工事につきましては、最後まで残っておりました橋梁工事に着手し、第一期事業を平成四年度に完了させる計画でありますし、慢性的な市街地の交通渋滞緩和へ向けて、東バイパス事業の促進を積極的に働きかけてまいります。

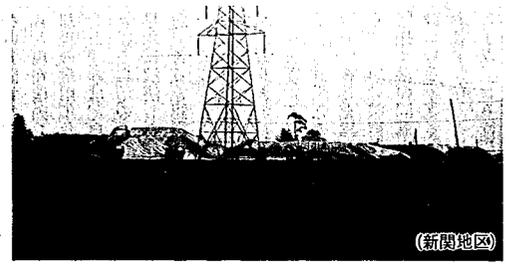
次に排水対策、特に荻川駅前中野地区の湛水排除対策についてであります。この原因は、ＪＲ信越線の軌道下に埋設されている排水管の容量が小さく、排水不良をおこしているのが最大の原因でありますので、本年度で荻川幹線排水路信越線横断樋管埋設工事に着手し、水害防止に努めていきたいと考えております。

なお、併せて車場幹線排水路改修工事に着手し、荻川地域の排水問題の解決を図っていきたいと考えております。

また、下水道事業につきましては、本年度補助・単独併せて十四億円の事業費で工事の進捗を図り、普及率の向上に努めてまいります。特に本年度は、北上ポンプ場に雨水の流入増に対処するため大口径のポンプ一台を増設し、なお一層機能充実を図る計画であります。

交通安全施設の整備につきましては、市道大関第二十一号下新線歩道整備工事が本年度完了するほか、新規に柄目木歩道橋の測量・設計及び市道本町・滝谷線歩道整備工事に着手し、通勤通学者の安全性を高めていきたいと考えております。また、消雪パイプ敷設工事につきましては、本年度、市道新町・大久保線ほか一路線を取り組み、冬期間の交通確保に資する予定であります。

さて、ごみ焼却場建設問題であります。この件につきましては、過去何回か建設候補地が話題にのぼり、また、具体的に地元の同意取りつけのため行政も議会も最善の努力を払ってまいりましたが、未だ建設予定地の決定に至っていない状況であります。


（新関地区）
盛土工事が進む磐越自動車道

施政方針を述べる小林市長

お買物、ご用命は市内で

初夏の味覚のメッセージ
さくらんぼ
小さな恋人さくらんぼ
おみやげにどうぞ
フルーツ&ギフト やまいし
本町２（新光商店街）
TEL 23-0397

肌着・化粧品
資生堂チェインストア
本町２丁目 マツヤ ☎(22)0418 (23)0630
第四銀行が向かい。北越銀行がとなり。

葬儀、祝、弔、花環
越松会会員募集中
入会金 3,000円のみで５年間保障
全館冷暖房完備
総合葬祭業
越後葬祭
新津市東町１丁目 ☎(24)8330